

資料 5 - 2

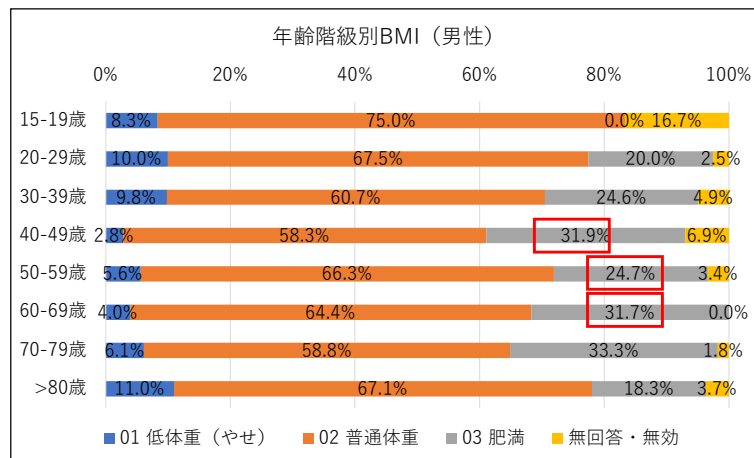
京都市 健康長寿・口腔保健・食育推進プラン（仮称）
「第2章 現状と課題」補足資料（案）

1

1

○ “生活習慣”に関するもの【栄養・食生活】

- 肥満に該当する男性の割合は、40歳以降高くなる。
（40歳代31.9%、50歳代24.7%、60歳代31.7%）



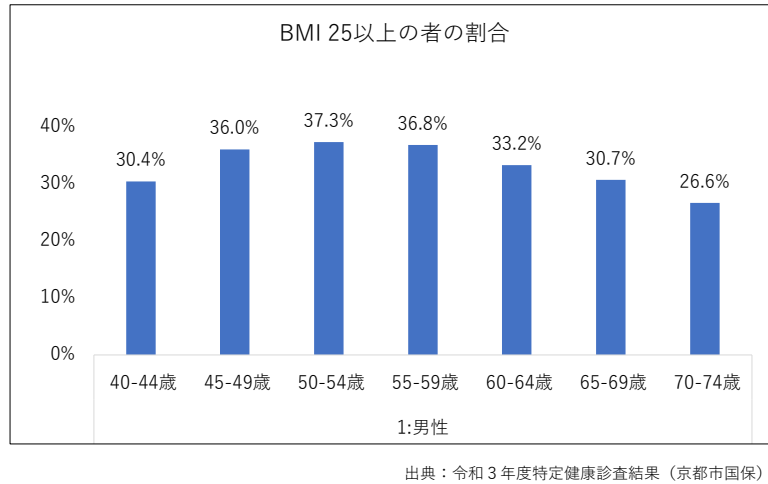
出典：京都市健康づくり・口腔保健・食育に関するアンケート（令和5年度）

2

2

○ “生活習慣”に関するもの【栄養・食生活】

(参考) 京都市国民健康保険特定健診における男性の肥満の割合

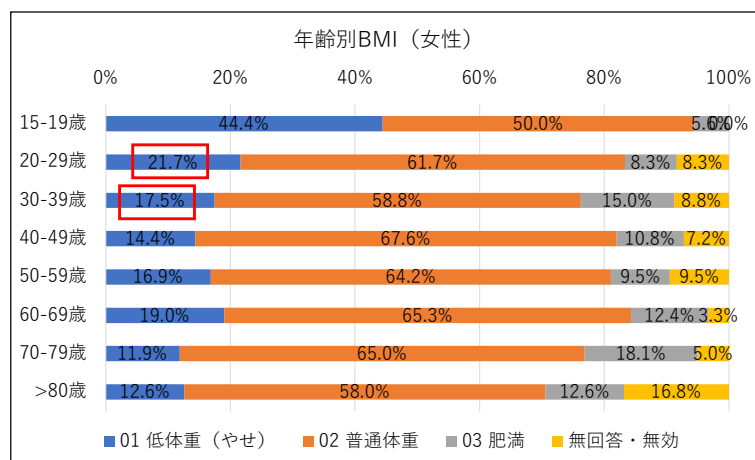


3

3

○ “生活習慣”に関するもの【栄養・食生活】

● やせに該当する女性の割合は、若年女性において高い傾向
(20歳代21.7%、30歳代17.5%)

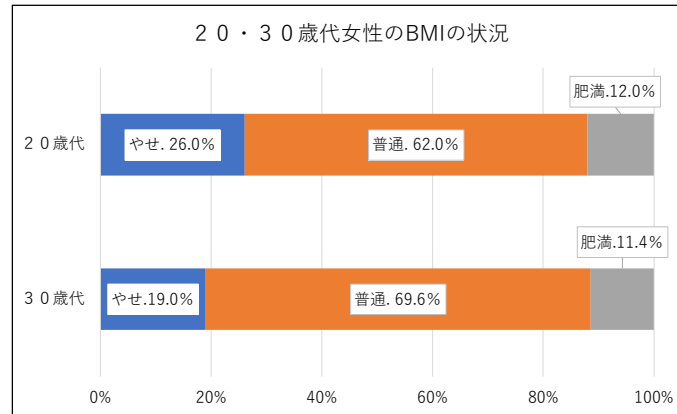


4

4

○ “生活習慣”に関するもの【栄養・食生活】

（参考）京都市青年期健康診査における女性のやせの割合



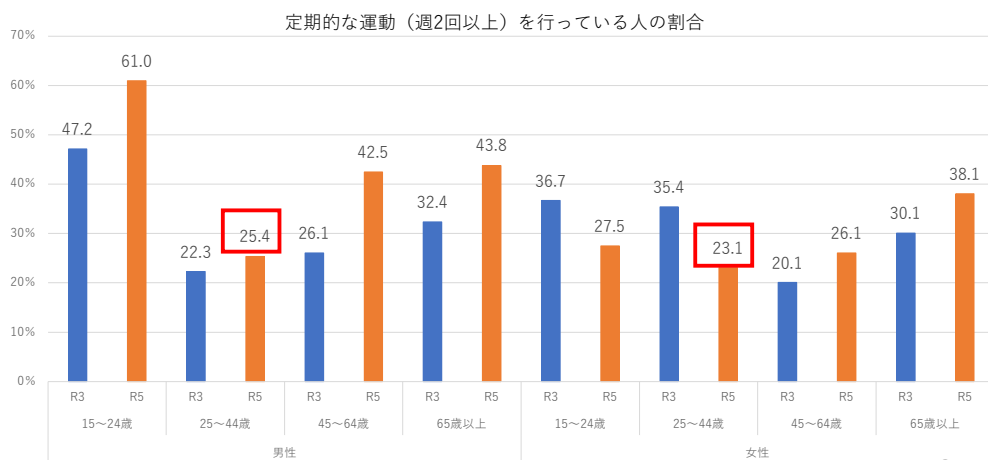
出典：令和4年度京都市青年期健康診査結果

5

5

○ “生活習慣”に関するもの【身体活動・運動】

- 定期的な運動（週2回以上）を行っている人の割合は、男女とも25～44歳の年齢層が他の年齢層より低い傾向にある。（男性25.4%、女性23.1%）



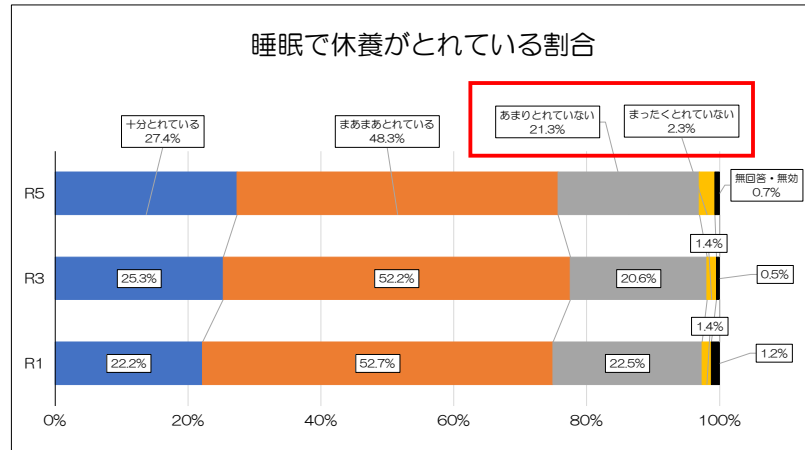
出典：京都市健康づくり・口腔保健・食育に関するアンケート（令和3・5年度）

6

6

○ “生活習慣”に関するもの【休養・睡眠】

- 23.6%の市民が、睡眠で休養をとれていないと感じており、経年で大きな変化はない。



出典：京都市健康づくり・口腔保健・食育に関するアンケート（令和元・3・5年度）

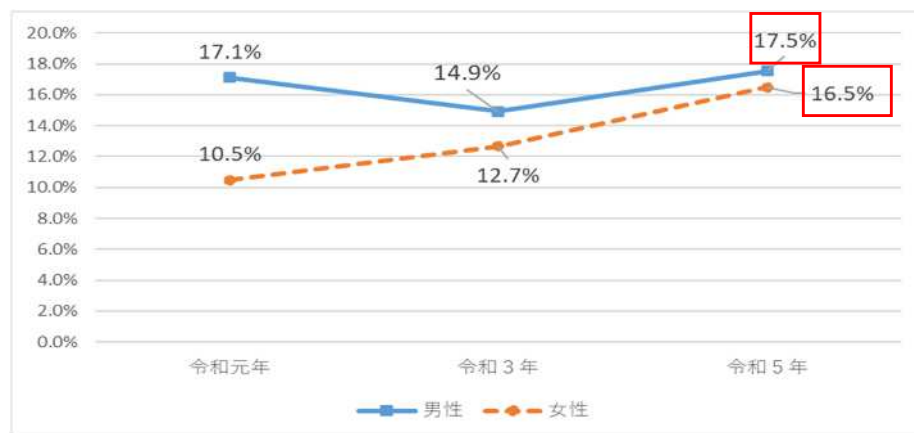
7

7

○ “生活習慣”に関するもの【飲酒】

- 成人男性の17.5%、成人女性の16.5%が、生活習慣病のリスクを高める量（男性2合以上、女性1合以上）の飲酒をしており、経年で増加している。

生活習慣病のリスクを高める量（男性2合以上、女性1合以上）の飲酒をしている者の割合



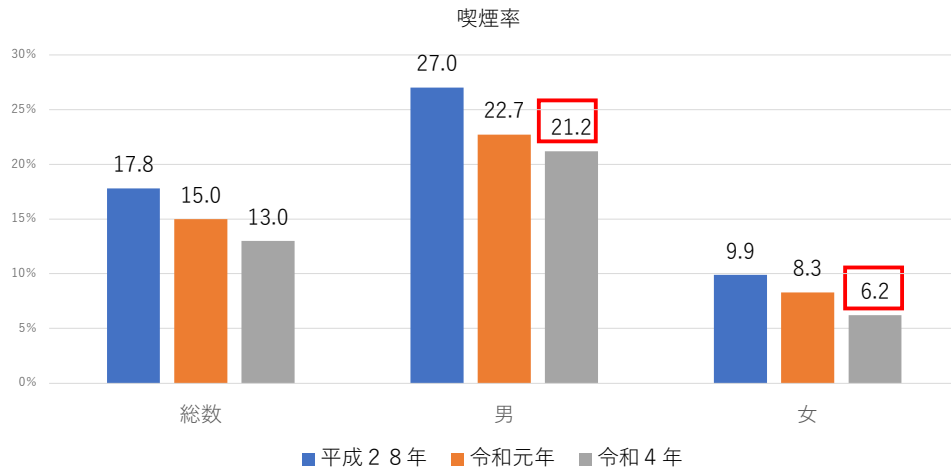
出典：京都市健康づくり・口腔保健・食育アンケート（令和元・3・5年度）

8

8

○ “生活習慣”に関するもの【喫煙】

●成人男性の21.2%、成人女性の6.2%が、喫煙をしている。



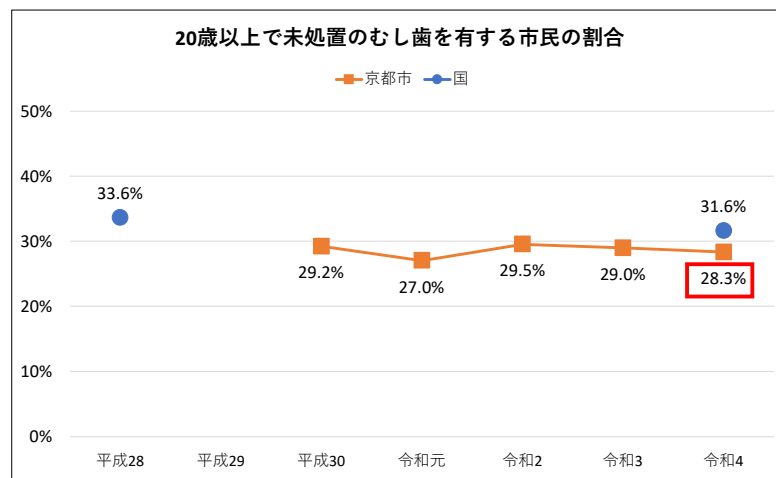
出典：国民生活基礎調査（平成28・令和元・4年度）

9

9

○ “生活習慣”に関するもの【歯・口腔の健康】

●20歳以上の28.3%が未処置のむし歯を有する。



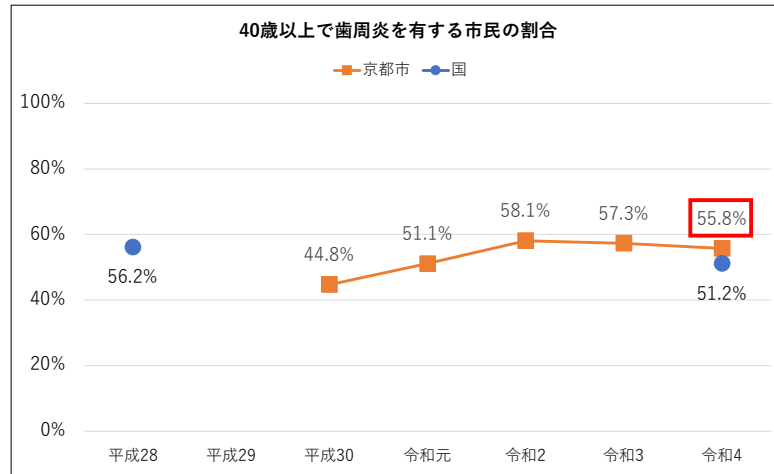
出典：京都市歯科健診事業集計データ（平成30～令和4年度）、
歯科疾患実態調査（平成28・令和4年度）

10

10

○ “生活習慣”に関するもの【歯・口腔の健康】

●40歳以上の55.8%が歯周炎を有し、経年的に増加傾向である。



出典：京都市歯科健診事業集計データ（平成30～令和4年度）、
歯科疾患実態調査（平成28・令和4年度）

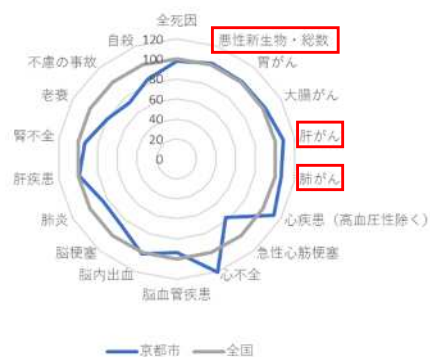
11

11

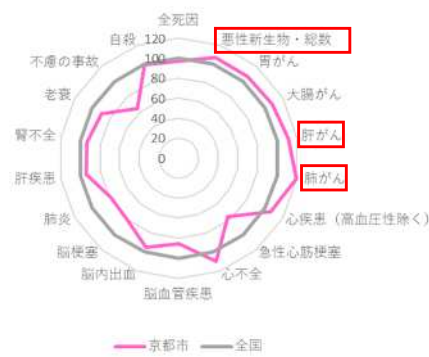
○ “生活習慣病”に関するもの【がん】

●主要死因の第一位、標準化死亡比では、がん総数及び肺がん、肝がんによる死亡は全国と比較して高い。

主要死因の標準化死亡比（男性）



主要死因の標準化死亡比（女性）



標準化死亡比：人口構成の違いを除去して、死亡率を比較するための指標
(全国値を100としている。)

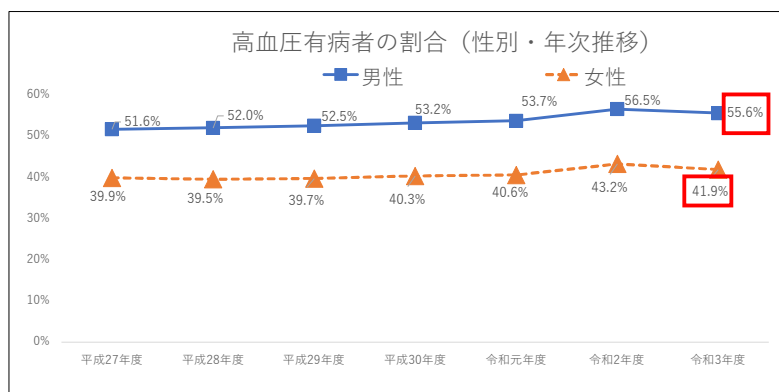
出典：令和4年版 京都市衛生年報
人口動態統計報告 平成29～令和3年

12

12

○ “生活習慣病”に関するもの【循環器病】

●循環器病の危険因子である高血圧について、京都市国保特定健診（40～74歳）では、有病者が男性55.6%、女性41.9%で、経年で大きな変化はない。



高血圧有病者：高血圧治療中または未治療の血圧140/90mmHg以上の者

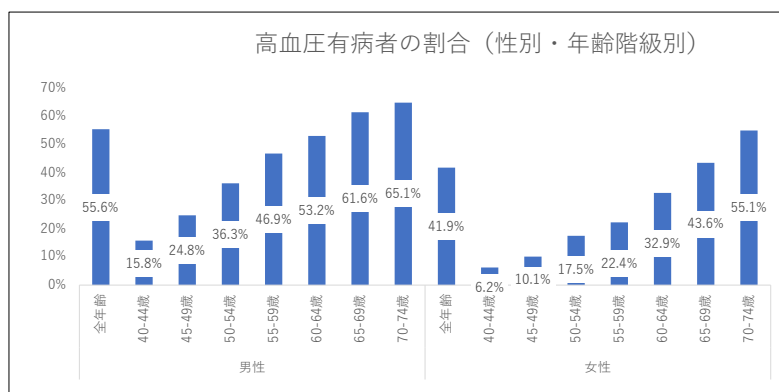
出典：京都市国保特定健康診査（平成27～令和3年度）

13

13

○ “生活習慣病”に関するもの【循環器病】

●循環器病の危険因子である高血圧について、京都市国保特定健診（40～74歳）では、有病者は加齢とともに増加している。



高血圧有病者：高血圧治療中または未治療の血圧140/90mmHg以上の者

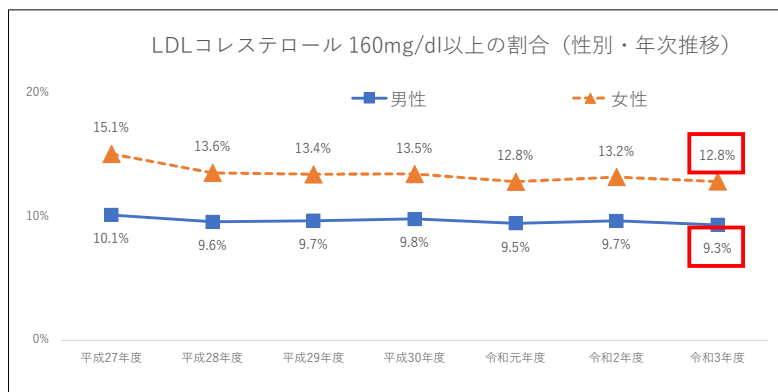
出典：京都市国保特定健康診査（令和3年度）

14

14

○ “生活習慣病”に関するもの【循環器病】

●循環器病の危険因子である脂質（LDL コレステロール）高値（160mg/dl 以上）の者は、京都市国保特定健診（40～74歳）では男性9.3%、女性12.8%で、経年で大きな変化はない。



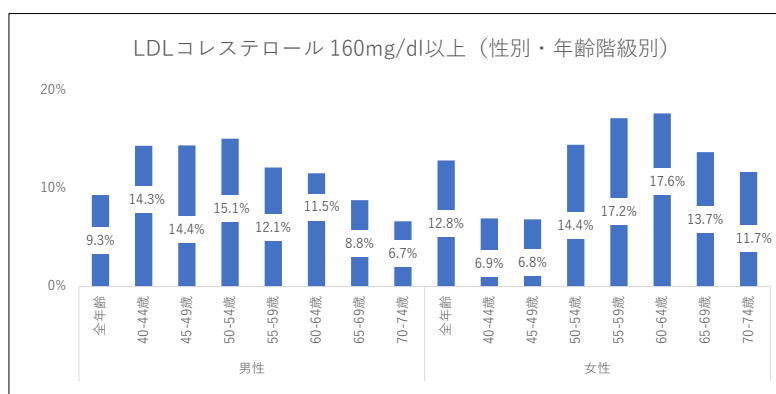
出典：京都市国保特定健康診査（平成27～令和3年度）

15

15

○ “生活習慣病”に関するもの【循環器病】

●循環器病の危険因子である脂質（LDLコレステロール）高値（160mg/dl以上）の者は、京都市国保特定健診（40～74歳）では、男性では40～50歳代、女性では50～60歳代で多くみられる。



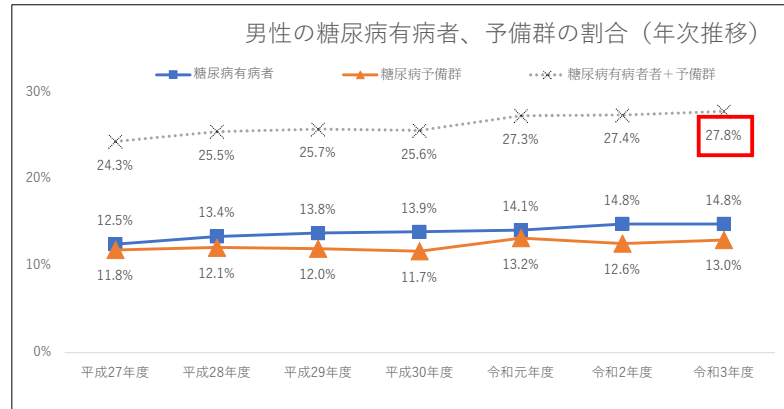
出典：京都市国保特定健康診査（令和3年度）

16

16

○ “生活習慣病”に関するもの【糖尿病】

- 京都市国保特定健診（40～74歳）では、糖尿病有病者＋予備群は男性で27.8%であり、およそ4人に1人が該当し、経年で微増している。



- * 糖尿病有病者（糖尿病が強く疑われる者）：HbA1c6.5%以上または糖尿病治療中
 * 糖尿病予備群（糖尿病の可能性を否定できない者）：HbA1c6.0～6.4%（糖尿病治療中を除く）

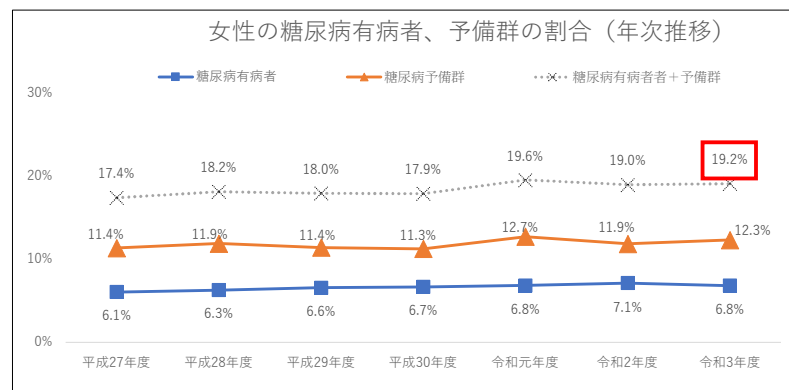
出典：京都市国保特定健康診査（平成27～令和3年度）

17

17

○ “生活習慣病”に関するもの【糖尿病】

- 京都市国保特定健診（40～74歳）では、糖尿病有病者＋予備群は女性では19.2%でおよそ5人に1人が該当し、経年で大きな変化はない。

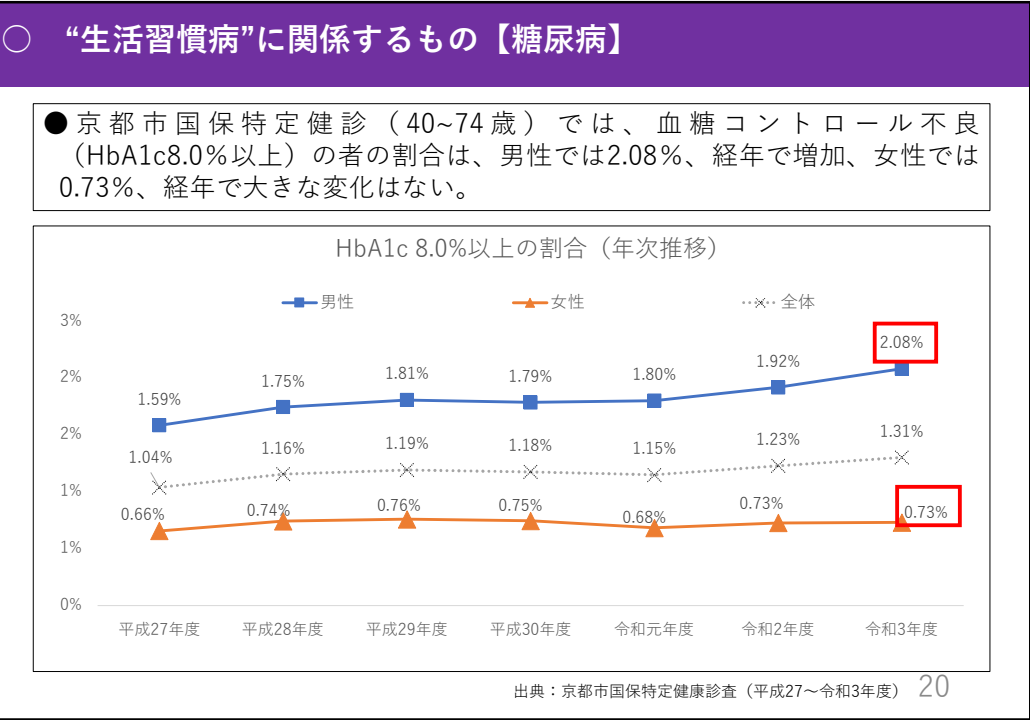
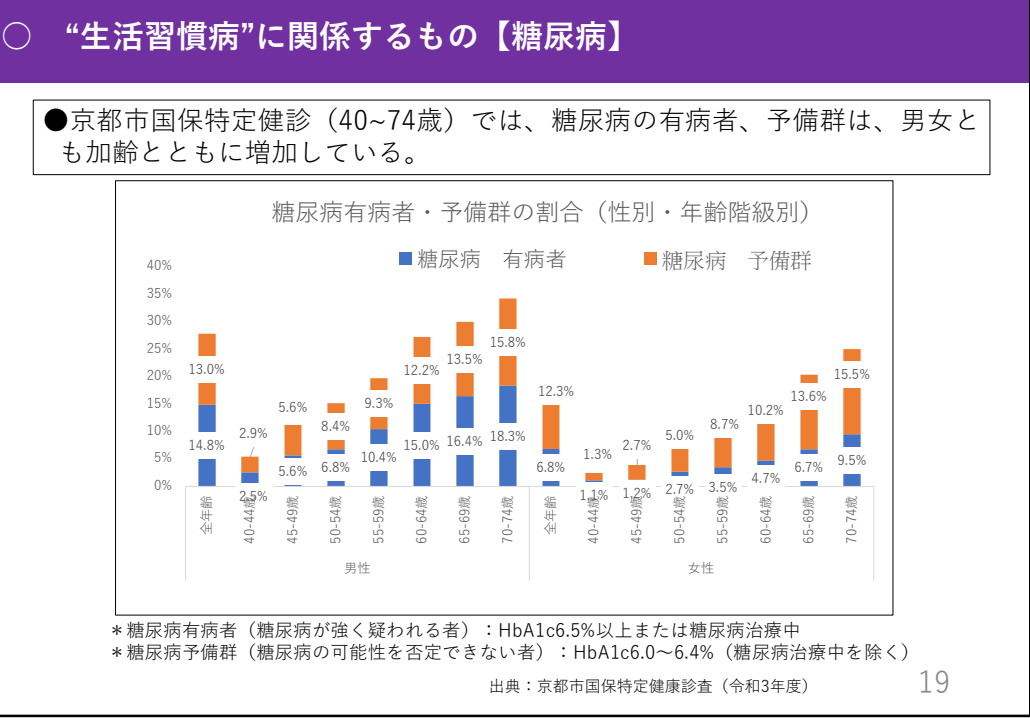


- * 糖尿病有病者（糖尿病が強く疑われる者）：HbA1c6.5%以上または糖尿病治療中
 * 糖尿病予備群（糖尿病の可能性を否定できない者）：HbA1c6.0～6.4%（糖尿病治療中を除く）

出典：京都市国保特定健康診査（平成27～令和3年度）

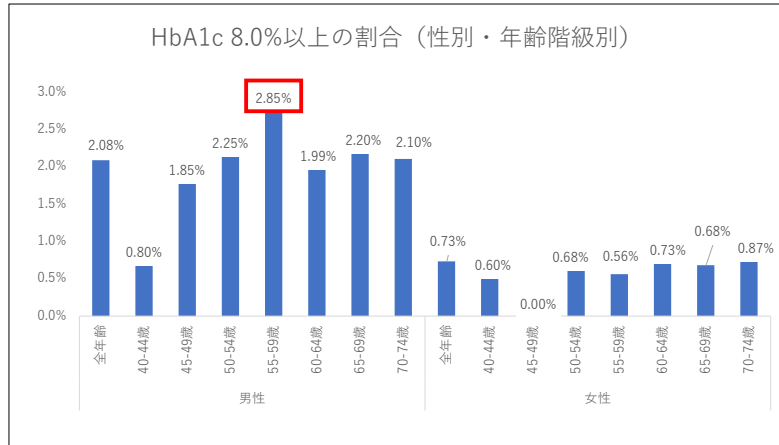
18

18



○ “生活習慣病”に関するもの【糖尿病】

- 京都市国保特定健診（40～74歳）では、血糖コントロール不良（HbA1c8.0%以上）の者の割合は、男性では55～59歳でやや多い。



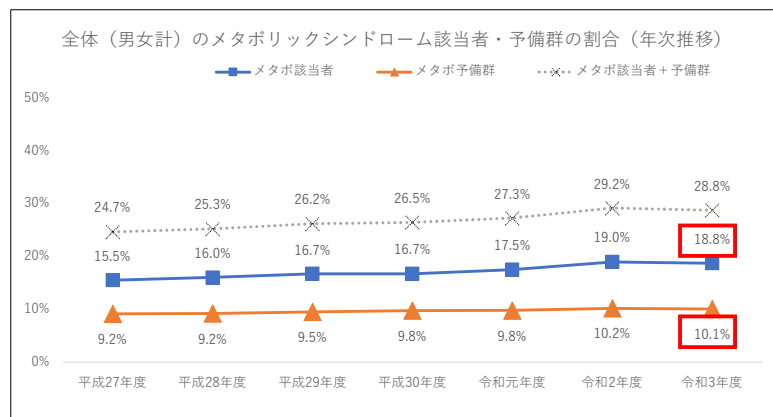
出典：京都市国保特定健康診査（令和3年度）

21

21

○ “生活習慣病”に関するもの【メタボリックシンドローム】

- 京都市国保特定健診（40～74歳）では、メタボリックシンドローム該当者が18.8%、予備群が10.1%であり、微増または横ばいである。



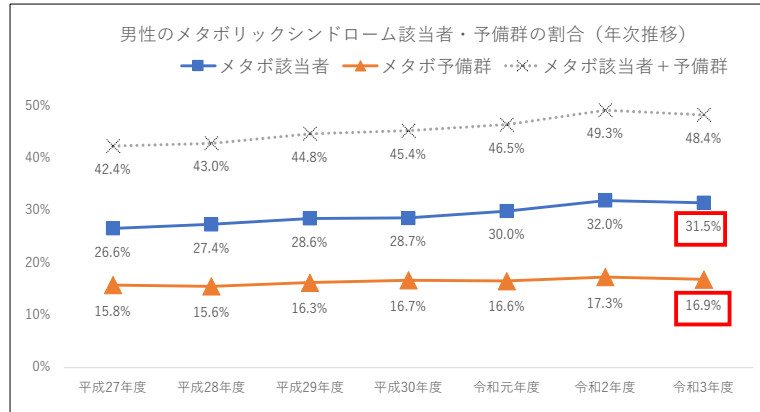
資料：平成27年度～令和3年度 京都市国保特定健康診査

22

22

○ “生活習慣病”に関するもの【メタボリックシンドローム】

●京都市国保特定健診（40～74歳）の男性では、メタボリックシンドローム該当者が31.5%、予備群が16.9%であり、経年で微増または横ばいである。



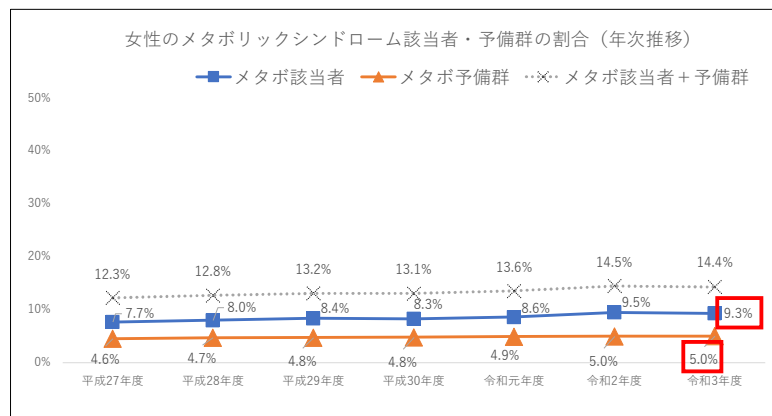
出典：京都市国保特定健康診査（平成27～令和3年度）

23

23

○ “生活習慣病”に関するもの【メタボリックシンドローム】

●京都市国保特定健診（40～74歳）の女性では、メタボリックシンドローム該当者が9.3%、予備群が5.0%であり、経年で大きな変化はない。



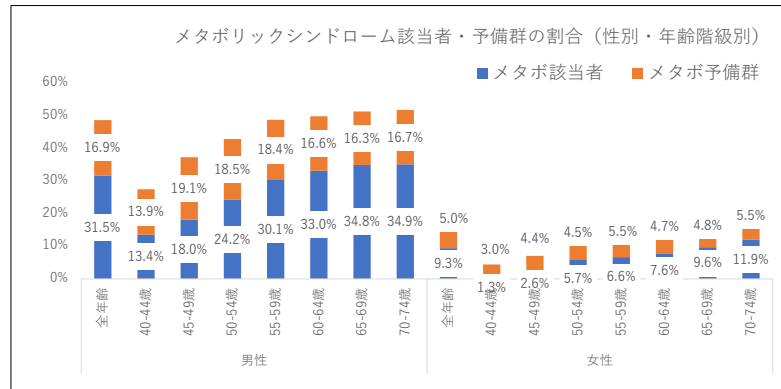
出典：京都市国保特定健康診査（平成27～令和3年度）

24

24

○ “生活習慣病”に関するもの【メタボリックシンドローム】

- 京都市国保特定健診（40～74歳）におけるメタボリックシンドロームの該当者＋予備群の割合は、男性では、40歳代から増加し、55歳以降はほぼ一定である。女性では、加齢とともに徐々に増加している。



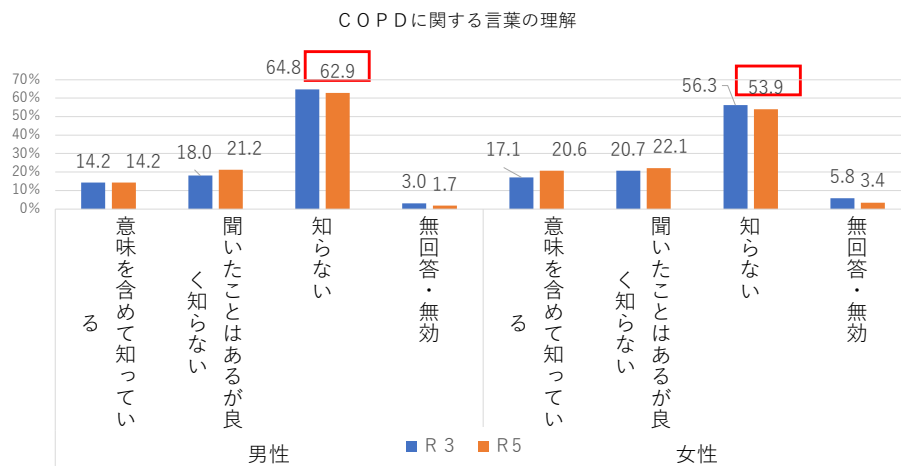
出典：京都市国保特定健康診査（令和3年度）

25

25

○ “生活習慣病”に関するもの【COPD（慢性閉塞性肺疾患）】

- 男性の62.9%、女性の53.9%がCOPDという言葉や意味を知らず、経年で大きな変化はない。



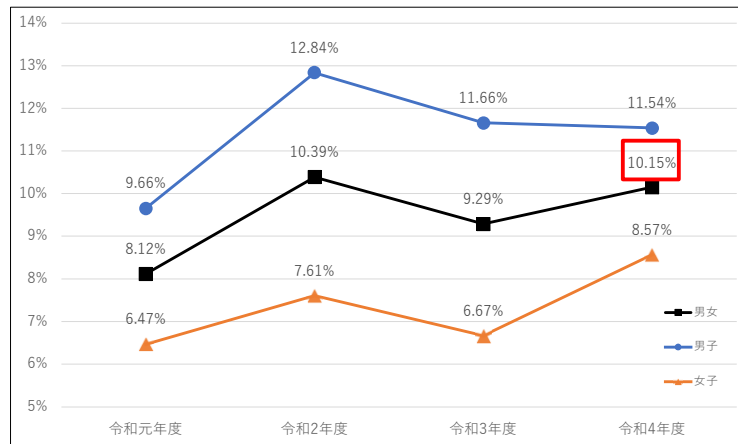
出典：京都市健康づくり・口腔保健・食育アンケート（令和3・5年度）

26

26

○ “ライフコース”に関するもの【子ども】

●児童（10歳 小学5年生）における肥満傾向の割合は、10.15%であり、経年で増加している。



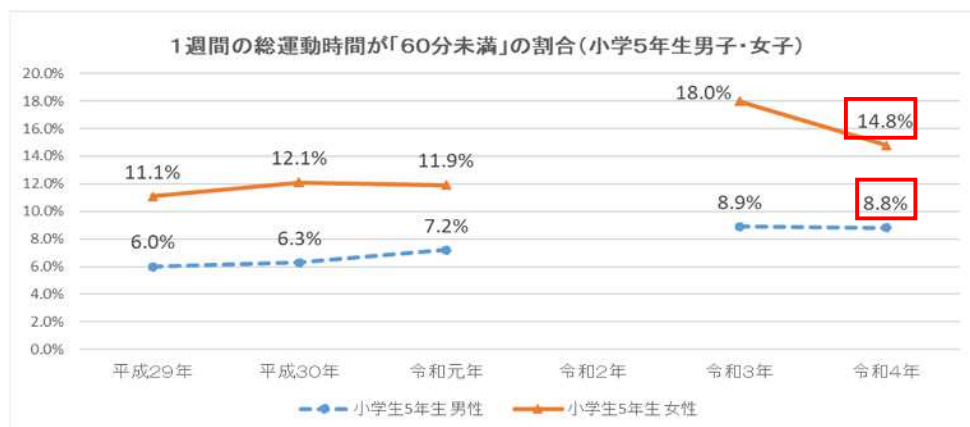
出典：「京都市立幼稚園・学校」幼児・児童・生徒定期健康診断集計表（令和元～令和4年度）

27

27

○ “ライフコース”に関するもの【子ども】

●京都市立の小学生男子の8.8%、小学生女子の14.8%が、1週間の総運動時間が「60分未満」である。



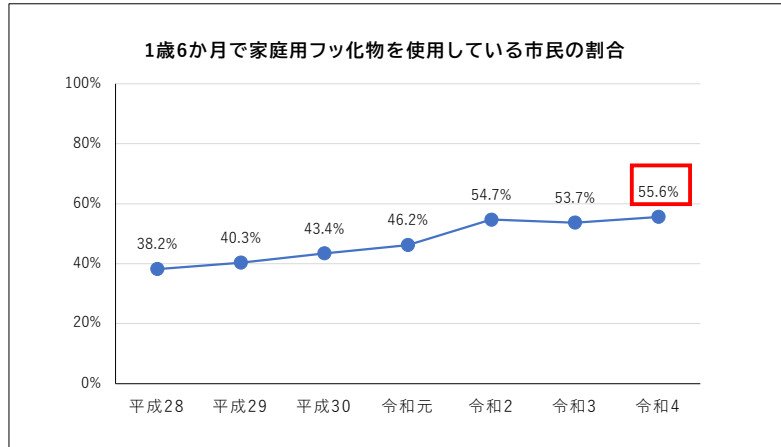
出典：全国体力・運動能力、運動習慣等調査（平成29年～令和元年、令和3～4年度）

28

28

○ “ライフコース”に関するもの【子ども】

- むし歯予防のための家庭用フッ化物を使用している1歳6か月児は55.6%である。



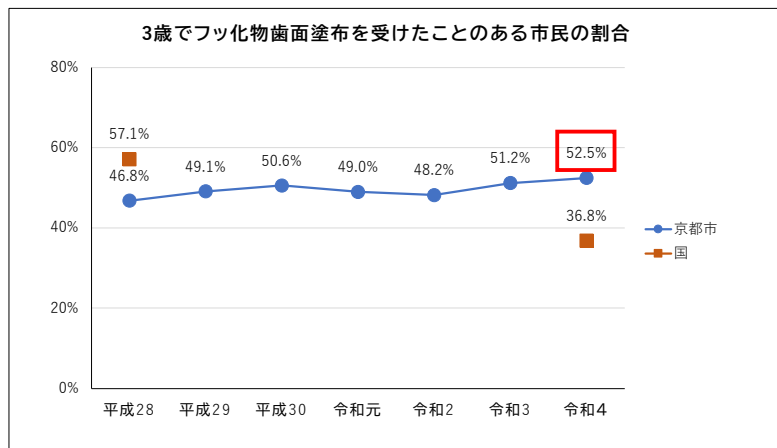
出典：京都市幼児健康診査結果（平成28～令和4年度）

29

29

○ “ライフコース”に関するもの【子ども】

- フッ化物歯面塗布を経験している3歳児（3歳での京都市フッ化物歯面塗布事業の受診票利用率）は52.5%である。



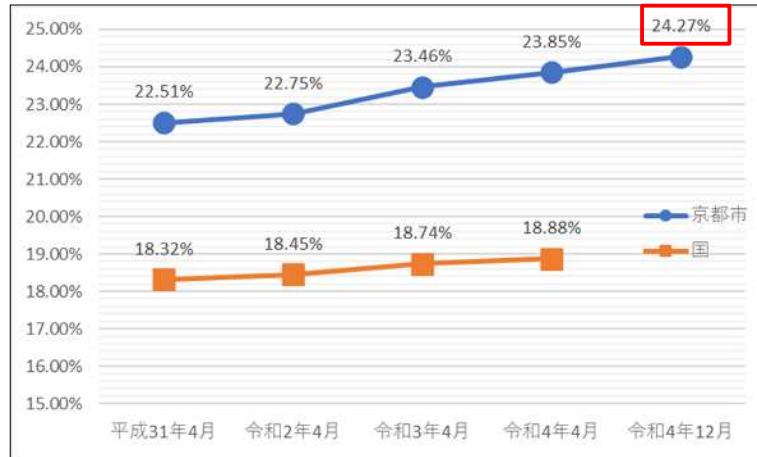
出典：京都市フッ化物歯面塗布事業実績（平成28～令和4年度）
歯科疾患実態調査（平成28・令和4年度）

30

30

○ “ライフコース”に関するもの【高齢期】

●要支援・要介護認定者は年々増加し、要支援・要介護認定率は24.27%で、全国平均と比較し高い。



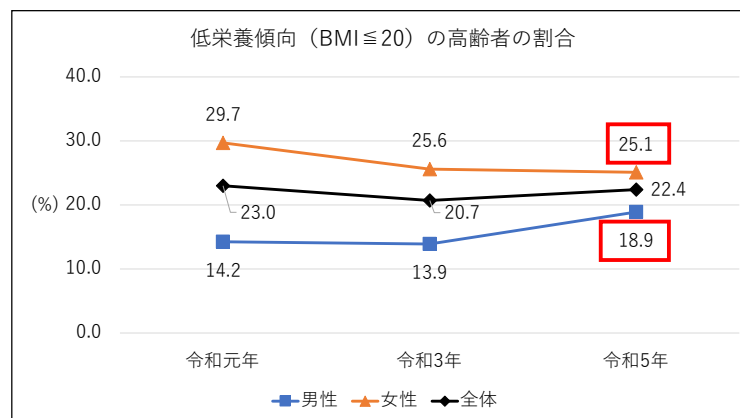
出典：本市算定（令和4年12月末）

31

31

○ “ライフコース”に関するもの【高齢期】

●高齢者（65歳以上）の男性の18.9%、女性の25.1%が低栄養傾向であり、経年で大きな変化はない。



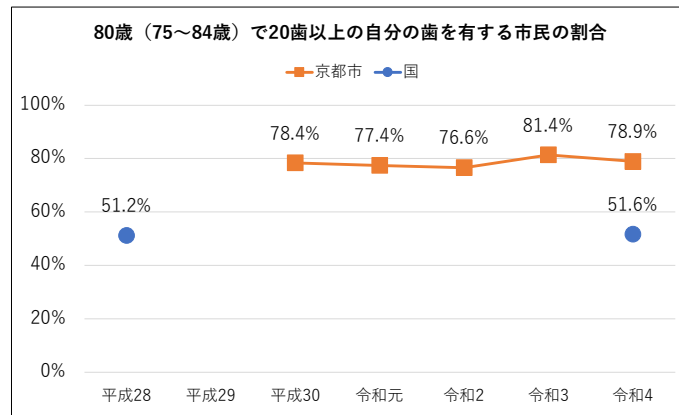
出典：京都市健康づくり・口腔保健・食育アンケート（令和元・3・5年度）

32

32

○ “ライフコース”に関するもの【高齢期】

●80歳（75～84歳）で20本以上の自分の歯を有する市民の割合は横ばいである。



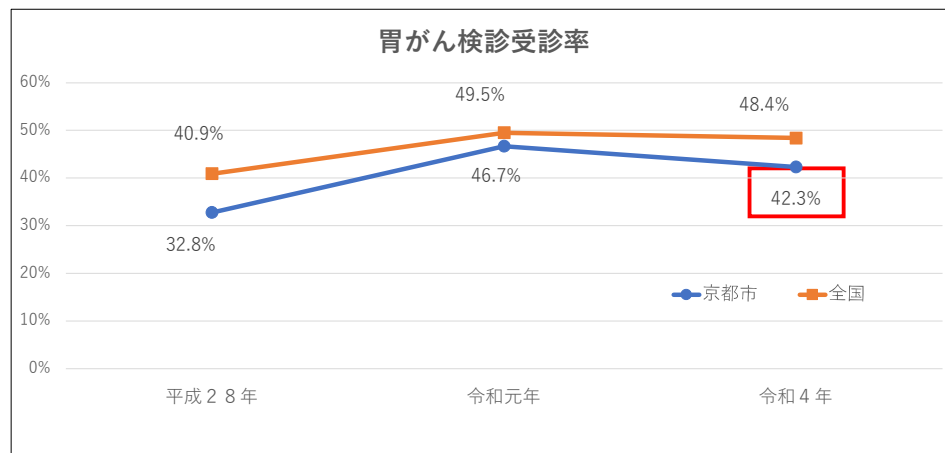
出典：京都市歯科健診事業集計データ（平成30～令和4年度）
歯科疾患実態調査（平成28・令和4年度）

33

33

○ “ライフコース”に関するもの【健（検）診】

●胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん検診において、全国平均と比較して受診率が低い。



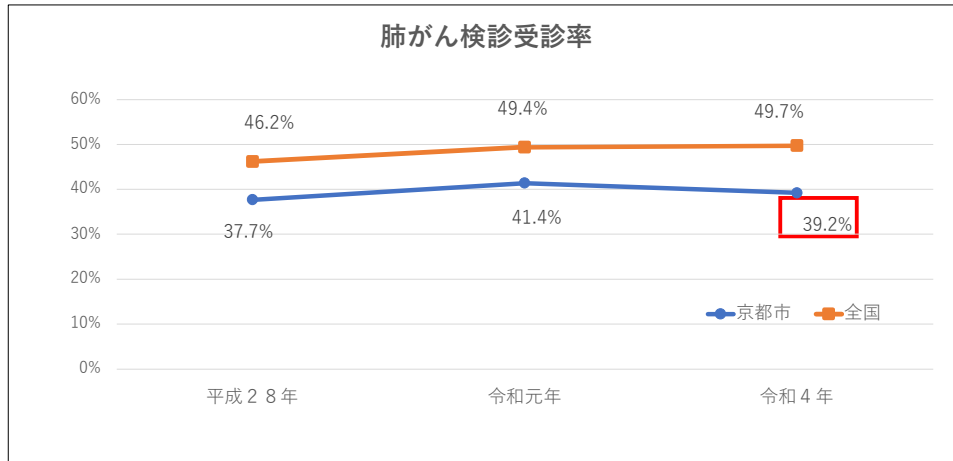
出典：国民生活基礎調査（平成28・令和元・4年度）

34

34

○ “ライフコース”に関するもの【健（検）診】

●胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん検診において、全国平均と比較して受診率が低い。



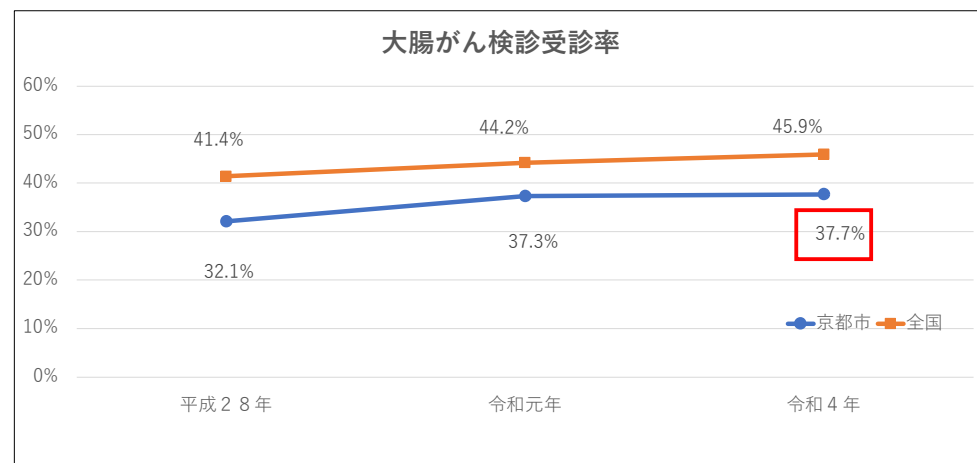
出典：国民生活基礎調査（平成28・令和元・4年度）

35

35

○ “ライフコース”に関するもの【健（検）診】

●胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん検診において、全国平均と比較して受診率が低い。



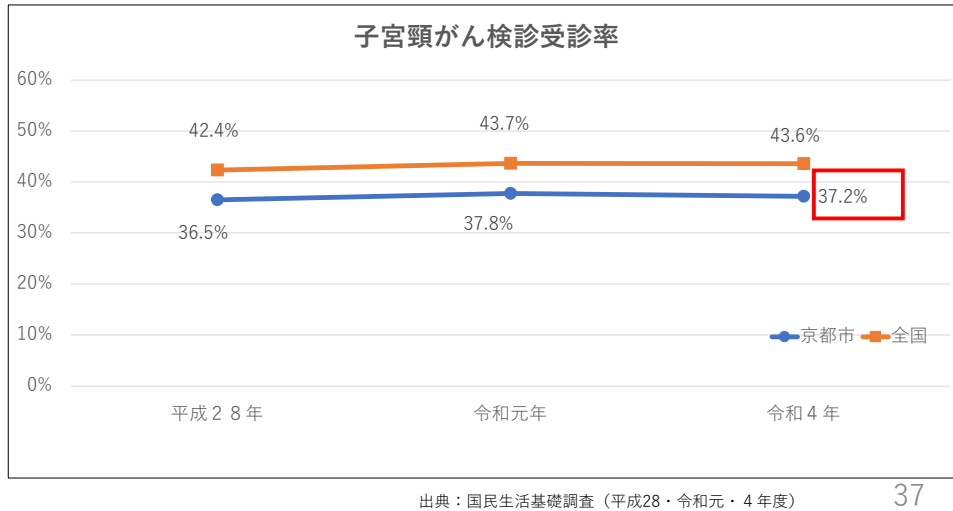
出典：国民生活基礎調査（平成28・令和元・4年度）

36

36

○ “ライフコース”に関するもの【健（検）診】

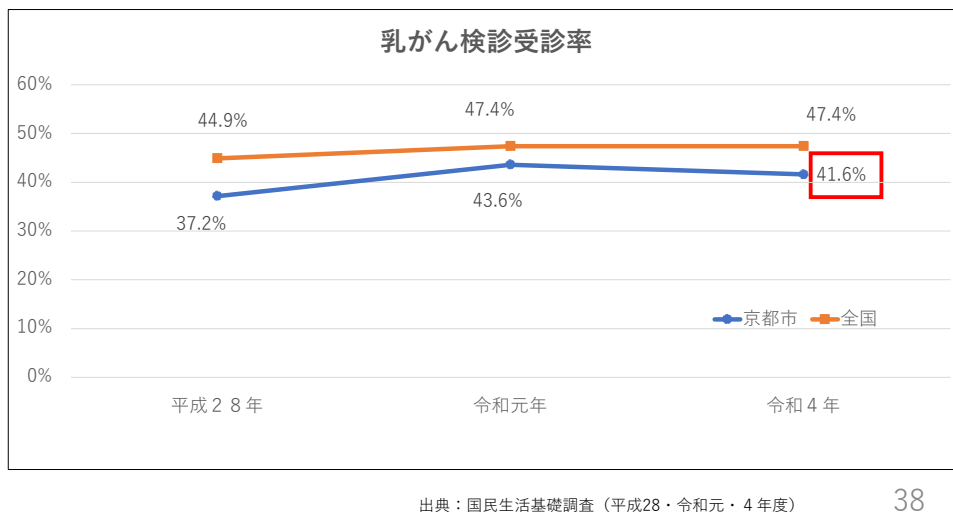
●胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん検診において、全国平均と比較して受診率が低い。



37

○ “ライフコース”に関するもの【健（検）診】

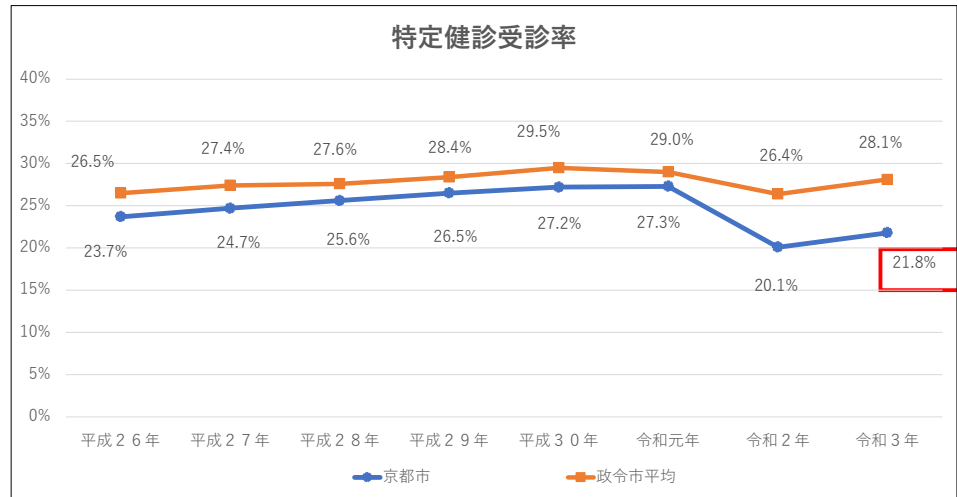
●胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん検診において、全国平均と比較して受診率が低い。



38

○ “ライフコース”に関するもの【健（検）診】

- 京都市国保における特定健診受診率が政令市平均に比べて低い。



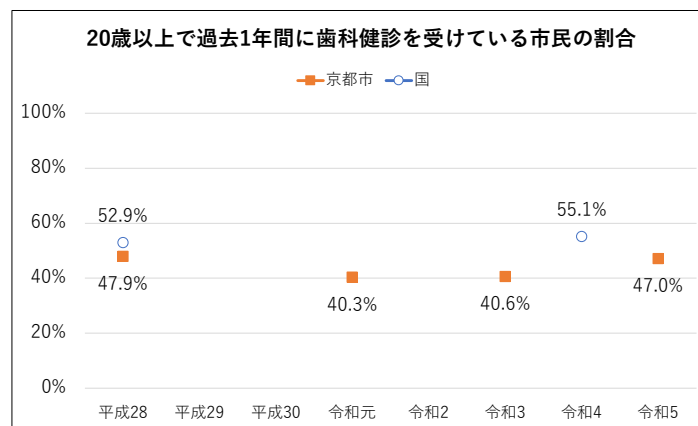
出典：京都市国保特定健康診査結果（平成26年～令和3年度）

39

39

○ “ライフコース”に関するもの【健（検）診】

- 20歳以上で過去1年間に歯科健診を受けている市民の割合は減少している。



出典：京都市市政総合アンケート（平成28年度）

京都市健康づくり・口腔保健・食育に関するアンケート（令和元・3・5年度）

国民健康・栄養調査（平成28年度）、歯科疾患実態調査（令和4年度）

40

40